

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(青森県 令和2年度)

市町村名	事業実施主体名	メニューアイデア(対象作物・畜種等名)①	事業実施後の状況①						成果目標的具体的な内容②	メニューアイデア(対象作物・畜種等名)②	事業実施後の状況②						事業内容(工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考						
			計画時(平成28年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率			計画時(平成28年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他										
			計画時(平成28年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率			計画時(平成28年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他										
黒石市	津軽みらい農業協同組合	再編後の施設利用率の向上及び施設の運営コストの低減	都道府県の重要な再編地域に選定されている 穀類乾燥調製貯蔵施設等の利用率49.9% 4,095t/8,200t	60.6%	75%	87.7%	再編後の穀類乾燥調製貯蔵施設等の利用率 100% 5,400t/5,400t	75.4%	再編後の穀類乾燥調製貯蔵施設等の利用率が37.8ポイント向上した。	土地利用型作物(稻)	事業実施地区における下位等級の比率の削減 5,400t/5,400t	下位等級比率(直近7中5平均) H22:11.3 H23:6.3 H24:20.4 H25:6.9 H26:12.1 H27:6.8 H28:3.3	2.8%	17.8%	11.4%	下位等級比率4.3% H26:33t/ H27:9,587.91t H28:10,184.31t	-61.4%	下位等級比率が2.7ポイント増となつた。 前7中5平均 H22:11.3 H23:6.3 H24:20.4 H25:6.9 H26:12.1 H27:6.8 H28:3.3	穀類乾燥調製貯蔵施設(建屋 1,845m ² 荷受設備 20t/h×4系列 乾燥設備 469.4t/日 精選設備 12t/h以上 ×2基 貯蔵設備 5,400t(450t×12基) 粒搗調整設備 4.5t/h(穀) ×2基 精米設備 集排塵設備 年間処理量 5,400t乾穀)	1,863,000,000	821,497,000	0	0	1,041,503,000	H30.8.24	施設利用率は、受入品種の変更(胴割れの発生が多い「つがるロマン」から胴割れの発生が少なく「つがるロマン」より多収の「まっしぐら」への変更)及び収量の増加により施設搬入数量が昨年より向上したもの、施設利用者の離農や、荷受作業の混雑を避けるために個人の乾燥調製・精米所への持ち込みなどにより、施設利用率が伸び悩み、目標が達成できなかった。引き続き受入品種を「まっしぐら」など胴割れの発生の少ない品種への移行を促すことにより施設取扱数量を増やすとともに、施設の作業効率を向上して荷受作業の待ち時間を減らしていくことをPRすることで、個人乾燥調製・精米所への持ち込みが減らず、施設利用率及び等級比率が向上しないことある。	運営コストについては、人件費や既存施設の解体処分による維持管理費の削減により、目標を達成していることから、引き続き運営経費の見直しなどによりこの状態を維持できるよう指導する。	施設利用率及び等級比率の向上については、目標を達成できなかつた要因として、近年高温により胴割粒やカメムシ被害の発生率が高くなっていることから、胴割粒の少ない品種への移行により下位等級比率の削減に努めたが、成果目標達成には至らなかつた。	このため、利用者の荷受日の指定により荷受時間の待ち時間が改善されたことや色彩選別機のある当該施設で選別することで下位等級比率が減少することなどを生産者に周知することで施設利用を促進するとともに、引き続き、胴割粒発生率の低い品種への移行促進、栽培管理や適期刈取の指導徹底を支援することで、実施地区全体の下位等級比率の低下を図る。	運営コストは成果目標を達成し、引き続き運営経費の見直しなどの経費削減に努める。	等級比率は、近年の高温により胴割粒やカメムシ被害の発生率が高くなっていることから、胴割粒発生の少ない品種への移行により下位等級比率の削減に努めたが、成果目標達成には至らなかつた。	これは、事業で導入した施設では、色彩選別機による選別により、落等(※検査等級が下がること)要因の一つである着色粒の選別が可能となったことから、下位等級比率はH30以降0%に低下したもの、事業実施地区内の色彩選別機が設置されていない個人乾燥調製・精米所での下位等級比率がカメムシ被害や胴割れの影響で低下しない状況にあったことが要因である。このため、個人乾燥調製・精米所から当該施設への切り替えを促すとともに、施設導入に伴い設立された利用者連絡協議会と定期的な打合せの実施により、利用者との情報交換に努め、栽培管理や適期刈取の徹底を推進し、品質の向上を図る。
都道府県平均達成率	47.8%	総合所見	評価対象となった1地区において、運営コストの削減については目標を達成しているが、施設利用率及び等級比率の向上については目標を達成できなかつた。 要因として、近年高温により胴割粒やカメムシ被害の発生率が高くなっていること、荷受時間の混雑を避けるため、色彩選別機のない個人乾燥調製・精米所への持ち込みが減らず、施設利用率及び等級比率が向上しないことあることから、荷受時間の改善や色彩選別機のある当該施設の利点等を生産者に周知することで利用を促進するとともに、引き続き、胴割粒発生率の低い品種への移行促進、栽培管理や適期刈取の指導徹底を支援することで、実施地区全体の下位等級比率の低下を図る。																													

都道府県平均達成率

47.8%

総合所見

評価対象となった1地区において、運営コストの削減については目標を達成しているが、施設利用率及び等級比率の向上については目標を達成できなかつた。
 要因として、近年高温により胴割粒やカメムシ被害の発生率が高くなっていること、荷受時間の混雑を避けるため、色彩選別機のない個人乾燥調製・精米所への持ち込みが減らず、施設利用率及び等級比率が向上しないことあることから、荷受時間の改善や色彩選別機のある当該施設の利点等を生産者に周知することで利用を促進するとともに、引き続き、胴割粒発生率の低い品種への移行促進、栽培管理や適期刈取の指導徹底を支援することで、実施地区全体の下位等級比率の低下を図る。

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。

2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。

3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。

4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。

5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。